

「まずは自分崩しから PART II」

昨夜、お子さんと旦那さんのことでいさどんに相談したさーさん。一晩経って昼食後、再びいさどんとお話する場がもたれました。さて、さーさんの心はどう変化しているのでしょうか？

いさどん：
あれから考えてみましたか？

さーさん：
今まで自分は色々なことをやってきたのですが、実際には自分に出来ないことをやってきたというのは本当だと思います。歪みのようなものが自分にはあると思っていましたが、そこまでひどかったのかと気づかされました。

いさどん：
ひどさ加減は自分の認識ですからね。

さーさん：
もうちょっと軽く考えていたのですが、「自分はよっぽど重症なんだな」と今は思っています。だから、私が今やろうとしていることは一回御破算にして、自分の中から本当にやりたいことが自然に湧き上がってくるのを楽しみに待とうと思っています。もしかしたら同じことをするのもかもしれないけれど、その時には今とは違う自分がいるのかなと思います。今まで私は「自分は大丈夫だ」と思っていて、「社会の色々なしがらみの中でストレスだらけの旦那さんも、こんな良いところがあると知るだけで彼の視野が広がるのかな」と思い、半分嫌がる彼をここに連れてきたのです。しかし、それを伝える私が心配されてしまうような自分では意味のないことなのだなと思っています。まずは他の人のことばかり気にしていないで、自分のことに本気で取り組む良いチャンスなのかなと思いました。彼には、「子どもと一緒に1ヶ月くらいここに滞在してもいいよ」と言われています。

いさどん：
彼はいつ頃そういうことを思っていたのですか？

さーさん：
4月に家族3人でここに来た時に私から離れない息子を見て、「こういうところに半年くらいいければ、子どもの状態も良くなるんじゃない？」と言っていました。

いさどん：
それは間違いないです。

さーさん：

その時は、「世界一周旅行に行っているよ」と言われたような気分で（笑）、「行けるものなら行きたいけれど、行けるわけがない！」とっていました。私も地域コミュニティづくりを週に一回くらいでやっているものですから、急にやめてしまうわけにはいかないと。でも、「それさえなければ半年いたいな」と本当は思っていたのですが。

いさどん：

半年は必要ないですが、1ヶ月くらいいられるといいですよ。お子さんを無理に馴れさせることは良くないので、自然に馴らしていくとしたら1ヶ月くらいは必要です。彼は良い提案をしてくれたと思います。

さーさん：

昨日お話しさせていただいて、「私が変わればいい問題なんだ」とわかり、私自身ほっとしました。色々な問題があるけれど、私の根本的なところが変われば良くなっていくのかなと思っています。具体的なことはまだわかりませんが。

いさどん：

具体的なことについては、一步踏み出すと次の景色が見えてくるものです。次の景色がまだ見えていないのに具体的なことを考えてしまうと、結局行ってみたら違っていたということにもなるのです。具体的なことというのは自然に見えることですので、その前にあまり考えない方がいいのです。特にあなたは段取りしすぎるところがありますから。

さーさん：

先まわりして、結局無駄なことばかりしてしまうのですよね。流れに全然任せられないところがあると思います。

いさどん：

今まであなたは一生懸命エネルギーを使ってきたと思うのですが、成就していないことが多いですよ。あなたの能力は高いのに成果が出ていないということです。あなたの能力が有効に働くように方向づけすれば、もっと余裕を持ってやれるはず。あなたと話していると、あなたにそれだけの能力はあると感じています。

さーさん：

少しでも他人の役に立ちたいので、自分の居場所、自分が本当に活かされる場所はどこなのだろうと思っています。

いさどん：

それは昨日あなたが話していた、学校を創るとか、地域のために貢献するということがいいのだと思います。あなたにはそういう能力がありますからやればいいのです。ただ、自分が不安定でまだ輝いていない状態では良い見本になりませんよね。まずは自分が輝いていないと他人のためになれないと思うのです。

さーさん：

「他人のためになりたいな」と思う気持ちはあっても、その想いはどこから来ているのでしょうか。それが私の歪んだ心から出てくる想いであるのなら。。

いさどん：

他人のためになるということは、それをすることによって自分の価値を高めることになるのですから、一方的に他人のためになるだけではないのです。他人のためにした分だけ、自分がそういう価値ある人になれるのですから。それは自分の中から湧き出てきたものですから、自信を持ってやればいいのです。ただ、自分がそれをするのにふさわしい状態であるかどうかを考える必要があると思います。

昨日あなたとお話しする前に、始めからあなたを一度崩してあげないといけなと思っていました。ああしてこうしてと自分の発想の中になががちに閉じこもっているあなたを崩してあげないと、自分を客観的に捉え直すことが出来ないと思ったので、ああいう話し方をしたのです。今日あなたと話してみても、その成果が現れているのだと思っています。では、崩れたからすぐに新たなエネルギーがそのまま使えるのかといたら、崩したものをもう一回組み立て直すことが必要です。そういう意味では、自分ひとりで出来ることばかりではありませんので、あなたが組み立てるのを私がお手伝いすることは出来ます。今まで健康な状態ではなかったのですから、自分ひとりで築けるばかりではないものです。

さーさん：

自分が不幸だったことにも気づけなかったわけですから。。

いさどん：

不幸なのかどうかというのは色々な捉え方がありますが、あなたの場合、一生懸命使ったエネルギーが自分のためになっていませんでした。それを不幸というかどうかは、「その時代があったから、おかげで次のステージがあったのだ」ということになれば、悪いことばかりにはなりません。

さーさん：

はたから見たら、滑稽なのかなと思ってしまって。。

いさどん：

人の眼をあまり気にしなくてもいいのですよ。「あの人はエネルギーにやっているな」くらいに他の人は見ますが、そこを突きつめて「ではあれをやった結果、ここで行き詰った。それをやった結果、ここで行き詰った」というふうには他人は見ないものです。普通の人は自分にだけ興味がある人が多いものです。だから、そういうふうを考える必要はないものです。ただ、あなたには人の眼を気にする癖があるということです。

さーさん：

他人の眼がとても気になってしまうのです。ここにいても、「ここにはこのルールがあるのではないか」と思って、「そこから外れてしまったら怒られてしまうのではないか」とびくびくしています。

いさどん：

それを判断する時にはこの人に聞いてからすればいいのであって、その前に自分で勝手に判断するのは健全なことではないですね。それを放っておくと、「これはこうだから、前もってこうしておこう」とやらなくてもいいことまで先まわりしてすることにもなるのですから、エネルギーの無駄使いになります。

さーさん：

いつも私はそういう感じです（笑）！

いさどん：

ですから、あなたのその心をもう一度組み立て直す必要があるのです。彼のことにして、息子のことにしろ、親との関係も含めてもう一回綺麗に組み立て直しましょう。同じ材料を使って組み立て直したとしても、もっとスマートに出来ると思うのです。同じ絵具を使って同じ景色を描いても、描く人によって全然違うものになるのと同じです。そのためには、1ヶ月くらいここに滞在しながら、そのことを身につけられるといいですね。

問題事の種がひとつあると、その種が色々な形で影響を与えるものです。シャツのボタンの掛け違いのようにひとつボタンを掛け違えると、全部ずれていくことになってしまうのです。最初はたったひとつのずれだったわけですから、たったひとつのボタンを元に戻してあげれば、自動的にあとのものは直っていくのです。流れが良くなると簡単に解決していきますよ。それを信じるということです。信じたら、信じたイメージの世界が自分のまわりに展開していきます。今まであなたは信じるということをしてきませんでした。信じられないからこそ、自分で解決しようと色々やってきたのです。しかし、この世界に生きているということは自分が生かされているということであり、色々なものをいただいているわけです。そのことを忘れてしまうと、自分で「あれをやろう、これをやろう」ということになってしまい、それはある意味エゴです。我が強くなってしまっています。そういう人というのは霊的にも高くありませんし、社会では評価されていても、現実では物事が滞ってきます。

さーさん：

その通りだと思います（笑）。

いさどん：

それは「勉強してやる！」ということではなくて、「ああそうだったのか、そういうことだったのか、だからそうだったんだ」と少しずつ自分の中に気づきとして理解が生まれてきたいものです。そんなにガツガツ一生懸命やる必要はありません。あなたの家族の今後を考えたら、1ヶ月くらいこの湯治場で合宿して（笑）、心のすり傷を癒してやれば、「知らない間に傷が治っていた」ということになるのだらうと思います。

さーさん：

では、旦那さんに聞いてみます。多分、ダメとは言わないと思います。

いさどん：

彼の中に幼い心はあっても、少なくともこれだけの年数を生きてきているのですから、大人の心もあるはずですよ。「自分が大切だから、大切な相手と健全でいたい」という心があるのですから、「今の不健全を健全にするためにまず私が勉強して来るから待っていてね」と言えば大丈夫ですよ。

さーさん：

昨日寝る前に、旦那さんから「何を話したの？」と聞かれたので大体のことを話したら、「良いことを言うじゃないか」と言っていました（笑）。

いさどん：

「ほめていただいてありがとうございます」と言っておいて下さい（笑）。

さーさん：

私が偏った考えで偏った情報を求めてしまっていたということはきっと彼も感じていたのだらうけれど、言っても私が聞かないものですから。。。

いさどん：

言っても聞かないというよりも、言っても聞く時期ではなかったということと、彼自身もそのことが出来ていないわけですから、相手を説得することはなかなか出来ないものです。彼には今後もそれが出来るのかはわかりませんが、あなたこそそれにふさわしい人になるべきです。今まで彼に言ってきたことを、あなたは自分に言わないといけなのです。自分がふさわしい人になって初めて、他の人のためになるのです。

さーさん：

他人のためになりたいと本当に思っています。

いさどん：

人のためになるというのは、やりたいからなるのではなくて、結果的になるものです。もしやりたい人がなるのだとしたら、それはお金や地位に任せてというように、自分が悦に入るためだったり自分の心を満たすためであって、本当の人のためにはなりません。

さーさん：

そこは勘違いしやすいところですよ。よっぽど気をつけないとあぶないなと思います。

いさどん：

紙一重ですから微妙なところではありますよね。逆に、そういう意味ではあなたは色々なことを学んで、知識として取り入れることには優れているのですから、バランス良い人になった時にはそれが活かされるようになるのです。あなたが本当に安定した人になれば、モンテストーリー教育の園長先生も「助けてくれませんか？」となんてことになって、あなたが言うようなモンテストーリーの教育理念に変える手助けをすることにもなるかもしれません。そうしたら、自分がやらなくても人とつながるだけでお金や場所、組織が出来上がり、意外と簡単に実践出来るということもあるのです。そういうふうに神様は粋な計らいをされるわけです。しかし、滞る時には何をやってもとことん滞るようになっています。それが流れというものです。ただ、流れがいったん出来れば、余分なエネルギーをかけなくても事がなっていくものです。それが「世のため人のため」にふさわしい流れです。

さーさん：

それはここのことを言っているようですね。

いさどん：

そうです。ここは天国みたいなところですよ。ここでは色々な活動をみんなで計画しますが、そのことにまったく執着していないのです。流れが悪くなったら、「ではやめようか」となります。その方がいいのです。余分なエネルギーを使って大変な思いをするよりも、そこでやめると新しい流れが出来て、それに乗った方が最初に考えたことをそのまま進めるより、効率良く早く出来ることもあるのです。だから、「自分たちで成し遂げよう」とは思いません。あなたもそういうコツを覚えるといいですね。教育も同じことだと思うのです。その人に自分で気づける環境を与えて、あとは信じて待つというようなことだと思うのです。

さーさん：

私もそういう教育がいいなと思います。大人が横からガツガツ言うのではなくて、その子の成長を信じて待ってあげられるような教育ですよ。

いさどん：

そうしないとせっかくの教育論が台無しになってしまいますからね。まず、あなたが信じるということです。信じるためには、今の状態を自分で解決出来ないことは良いことなのです。他者に委ねないといけないのですから。信じる心がないと委ねられないのです。信じる心を育ててもらっているのです。そこで、「問題事すらありがとうございます。ここまできめ細やかな心配りをして、私のことを導いてくれているのですね」ということになりませんか？

さーさん：

なります。「自分ではもうダメなんだ」ということがよくわかりました。

いさどん：

そのことが理解出来た時に、あなたは出来る人になるのです。不健全なあなたでは出来ませんが、健全なあなたでは出来るということは、健全になりさえすればそれでいいということです。結局、自分がダメなのではなくて、自分でやれるような人になるということです。

さーさん：

そうだと嬉しいのですが。。

いさどん：

「そうだと嬉しいのですが」というのは、信じる心が足りないのです。

さーさん：

やっぱり足りないのですね（笑）。なかなか時間がかかりそうですね。

いさどん：

それは、「自分が思っていたことが実はそうではなかったのだ」とその時にひとつひとつ、薄皮をはぐように取っていくことです。早速彼に話してみたらいいと思います。「あなたや子どものことは大切だけれど、今は私が健全になることがあなたや子どものためだから、まずその時間を取らせてね。自分が健全になったら、私は家族のために生きられますから」と伝えれば大丈夫ですよ。

さーさん：

はい、そうしてみます。

いさどん：

あなたは彼に問題があると言っていました、私は彼を初めて見た時に、「あれが彼の個性

だから今後もそんなに変化することはないだろう」と思いました。彼の社会生活が上手くいくということについても、あなたがその鍵を握っているのだと思います。ですから、あなたが健全になれば彼はもっと安定します。

昨日私はあなたとお話しする前に、「さて、この人のトラウマはどこから来ているのだろうか？そして、どうやってそれを崩していこうか」と考えていました。まずは崩さないといけなかったのですから。それで、今はもう崩す必要はありません。あとは自分を知ってどうやって組み立て直すのかということです。それはあなたがすることです。私は設計図を見ながら現場監督のように見守ることは出来ますが、大工さんはあなたです。自分を理解することは設計図を理解することです。どのように問題があって、それをどのようにリフォームするのかということです。

さーさん：

実は自分のことを全然わかっていなかったのですね。自分のことをわかっていないから他人のことも全然わかっていなかったのです。

いさどん：

しかし、他人のためや自分のために一生懸命やってきたのです。

さーさん：

馬鹿みたいですよ（笑）。

いさどん：

はっはっは（笑）。自分からそれが出てくるのは良いことです。他人から「馬鹿みただね」と言われると癪にも障るものですが。そういうエネルギーの使い方はもったいないですからね。あなたは親とのトラウマが強くあるようなので、まずはそこが取れないとダメですね。

さーさん：

私がうつ病になった時に、ある宗教団体に入れられてしまったことがトラウマになっていて。。。

いさどん：

それは親子関係が不健全だから、そういうところに委ねられたということです。親が自分の子どもを導けなかったということです。もしこれから心を立て直していくとしたならば、親から精神的に自立していくことが大切です。そして、悪い思い出は捨てていくのです。これからのあなたの人生が素晴らしければ、今まで悪く捉えていたこともすべて良いことに変わります。しかし、これからの人生を今の延長のまま過ごしていけば、今までの親との出会いもすべて悪い思い出のままです。過去のことはどうにでも出来るものなのです。想いが具

現化して未来も訪れるのですから、今自分が前向きでいればそのような未来が訪れます。私たちは過去も未来も同時に創っているのですから。良くするのも悪くするのも自分次第ということです。

さーさん：

大変貴重なアドバイスをいただき、どうもありがとうございました。まずは彼とよく話してみ、早めにここでトレーニング出来るようにします。